



みかんぐみだより



令和6年4月26日

社会福祉法人まほろば 湊こども園



桜の花やチューリップの花が咲く、暖かで穏やかな4月に新入园児4名を迎えて、みかんぐみ24名で過ごしています。オレンジ色の帽子が嬉しくて、喜んでかぶっていた子どもたちです。初めは環境の変化に緊張していましたが、少しずつ慣れて、今では自分の思いを出しながら元気に遊んでいます。子どもたちの思いやペースに合わせながら、ゆったりと安心して過ごせるようになっていきたいと思っています。



こいのぼりっておおきいね

園庭で泳いでいるこいのぼり。クラスで見る機会をもちました。『お父さんこいのぼり』を見て「おおきいね～」と興味津々で、手で触ったり、口の中をのぞいたりしていました。

そのあと、自分のこいのぼりを作ろうと、シール貼りをして遊びました。子どもたちのこいのぼりは5月に玄関に飾ります。詳しい様子も写真を添えてお伝えしますのでご覧ください。



ダンゴムシ、どこかなあ

大きいクラスの友だちの真似をして、みかんぐみの子どもたちもダンゴムシ探しをしています。保育者と一緒に探し、見つけるとバケツに入れてじーっと様子を見て楽しんでいます。

小さな生き物に興味をもって見たり、触れたりしながら喜びや不思議を感じているようです。まだ難しいですが、小さな生き物にも命があること、優しく触れることを知らせていきたいと思っています。



いろいろなことに興味をもち、「やってみたい!」「じぶんで!」という気持ちをもって子どもたちです。着替えを自分でしようしたり、遊具を自力で上ろうとしたりと、保育者の援助なしでやってみようとする姿が見られます。

この年齢の「やってみたい!」「じぶんで!」はとても大切です。好奇心、チャレンジ精神はもちろん、できたときは大きな自信にもつながります。ついつい手を貸してしまいがちですが、保育者は子どもの「やってみたい!」「じぶんで!」の姿を見守り、待つことも大切にしていきたいと思っています。また、子どもたちの好奇心が広がるようにワクワクすることを一緒に楽しみ、気持ちや気づきに寄り添って過ごしていきたいと思っています。